報道関係各位

2026年10月26日

発信者　合同会社健適文化

Webサイトを動かすPHPに重大な欠陥 更新の頼み先がない企業向けに道内の会社が「PHP健適診断」を開始

Webサイトを動かすソフト「PHP」に重大な欠陥が見つかり、更新を頼める先のない企業(保守の契約が切れた、前任者が退職したなど)は対応が難しい状況です。合同会社健適文化は、こうした企業向けの診断サービス「PHP健適診断」をリリースし、10月24日に案内を自社サイトに掲載しました。道内だけでなく全国の企業を対象に、オンラインでも受け付けます。

背景

PHPは、WordPressなど多くのWebサイトで使われています。2026年10月21日にPHPの開発チームが修正版を公開した2件の欠陥(通称PHP2Shell)は、深刻度が国際的な評価基準CVSS(4.0版)で10点満点中9.2と、最も高い「緊急」です。識別番号はCVE-2026-109618とCVE-2026-109619です。ログインを通らずに第三者がサーバーを操作できる恐れがあります。欠陥はPHP本体にあるため、WordPress本体やプラグイン(追加機能)の更新だけでは防げません。

米セキュリティ企業Bitsightの調査(10月21日公開)によると、インターネット上でバージョンを確認できたPHPのうち、今回の修正版の対象の系統で動くものは約3分の1です。残りは開発元の更新が終わった古いバージョンです。

今回はPHPでしたが、同じことはほかのソフトでも起こります。Node.jsでは、2026年に入り、深刻度が「高」とされるものを含む欠陥の修正版が繰り返し公開されています(Node.jsの公式発表による)。Pythonでも修正が続いています。

今年に入りAIが高度に発達する中で攻撃に使用されるケースも飛躍的に増加しています。サイバー攻撃というものは欠陥を見つけ、欠陥を突く事で成立しています。欠陥がないシステムにする事ができれば理想ですが、現実的ではありません。欠陥が見つかり次第塞いでいくと言う対応順になってくるのですが、この対応順が効力を発揮するには対応速度が欠かせません。速く対応するには、素早く動ける開発・保守ベンダーとの関係性と、すぐに修正版を入れられるように整えたシステムの両方が要ります。

システムを常に最新の状態にしておけば、修正版(パッチ)をすぐに反映できます。古いまま放置すると、修正版を入れる難易度が跳ね上がり、欠陥を即座にふさぐことが難しくなります。また、システムの停止期間も最小限に抑えることができるため、最新の状態を保つことが、システムを社内や取引先、顧客の情報を預かり事業を営む上での責任であると当社は考えます。

PHP健適診断を始めた理由

当社は昨今のセキュリティ危機はITに携わる技術者のすべてが優先して取り組むべき課題だと捉えています。エンドユーザーがシステムというものに対し安心感を持てるものでなければ、システムは使われません。システムは使われなければ効力を発揮できず新たな価値を生みません。

この問題を前にして、ソフトウェアを取り扱う当社は放っておくわけにはいきません。どのベンダーもパンク状態ではあるからと言って更新の頼み先がない企業が取り残されてはなりません。

取り組みと料金

PHP健適診断では、プロの技術者がWebサイトの健康状態と各種設定が適切なものになっているかを確認し診断します。使っているPHPのバージョンと今回の欠陥の影響を調べ、更新で済むか手直しが必要かを判断します。対応が必要な場合は、内容に応じて見積もりをお出しします。

料金: オンライン（札幌近郊であれば対面可）30分 10,000円(税別)

人間の健康診断と同じく、まず問題があるかないかを調べておくことは、企業にとっても、そのシステムを使う利用者にとっても必要なことだと当社は考えます。場合によってはPHPに限らず、システム全体が最新の状態になっているかの診断も行います。

お問い合わせ先

診断依頼・広報・取材のお問い合わせは、次の窓口で受け付けます。

合同会社健適文化

電話 080-6672-7600

メールアドレス noriaki@kenteki.org

会社概要

項目	内容
会社名	合同会社健適文化
所在地	〒061-1417 北海道恵庭市駒場町4-5-12
設立	2023年8月
代表	半田寛明
事業	システム受託開発、AI活用支援
サイト	https://kenteki.org